

Interim Business Report

2024

中間報告書

2023/4/1 ▶ 2023/9/30

証券コード:4718



Top Message トップメッセージ

子どもたちの未来を育む
独自の価値を提供し続け
教育企業No.1を目指します。

代表取締役社長 山本 豊



株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2024年3月期第2四半期の当社グループは、新型コロナウイルス感染症の法的位置付けが5類に移行され、社会・経済活動の正常化が進む中、更なる飛躍に向けた重点施策に取り組んでまいりました。

教務面では、授業品質を一層向上させるべく、難関校受験に向けた指導体制の強化や指導カリキュラムのメンテナンス、実践力強化に向けたコースの拡充に注力してまいりました。運営面では、コロナ禍で中止せざるを得なかった夏期合宿を一部学年で4年ぶりに開催することができ、通塾型の夏期集中特訓とともに、多くの生徒にご参加いただきました。

また、5月19日に公表した中期経営計画に定める新領域での施策につきましても、着実に進捗しております。「個別指導部門の拡充の加速」につきましては、9月末現在の校舎数が67校となり目標とする100校体制に向けての歩みを進めております。更に、「大学受験部門の新領域の開拓」については、新たに株式会社ナガセが運営する東進衛星予

備校ネットワーク・東進中学NETに加盟することを決定いたしました。今後は、最難関大学向けの対面指導・映像授業・個別指導を選択受講できる体制が整い、大学受験部門の飛躍的な成長が図れるものと期待しております。

これらの取り組みの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高159億8,100万円（前年同期比7.8%増）、経常利益14億600万円（前年同期比26.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益10億300万円（前年同期比45.3%増）と極めて順調に推移いたしました。

以上の業績動向を踏まえ、当期の中間配当は3期連続増配となる1株当たり10円をお支払いさせていただくとともに、中期経営計画で定めた配当性向目標35%を上回る配当金をお支払いするため、期末配当予想を期初予想の1株当たり20円から30円に増額いたしました。

今後も当社グループは、生徒・保護者の皆様や社会からの信頼と期待にお応えするとともに、企業価値向上に向けた取り組みに努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

中期経営計画

(2023年5月19日発表)

当社は、「子どもたちの未来を育む独自の価値を提供し続け、教育企業No.1を目指す」という企業目標の実現に向け、2024年3月期～2026年3月期の中期経営計画を本年5月に策定・発表し、以下の主要な取り組みを推進しております。今後も、進捗状況について、適宜報告してまいります。

中長期ビジョン

既存 コア事業の強化

- 授業サービス品質の向上
- 採用と研修育成の強化
- 教務システムの改善
- 合格実績伸長
- ワセ価値提供の浸透
- 既存出校エリアの再編成
- 地域別戦略の構築と実践

+

新規 創出とチャレンジ

- 大学受験部門の新領域創出
- 個別指導部門の拡充加速
- DX戦略強化と差別化促進
- ICT利活用新規サービス
- 英語ブランド校舎展開
- 国際部門(海外展開)強化
- 新規校舎展開・M&A

主要な取り組み



標準校舎の着実な伸長

新規開校は年間1校程度を想定し、既存校については内部充実、移転・リニューアルを推進してまいります。授業サービス品質の更なる向上に取り組み、顧客満足度を高めてまいります。



大学受験部の新領域を開拓

2025年3月期より新たな授業サービスの提供を開始いたします。1学年1万人以上いる「卒塾生」へのアプローチで、塾生数及び売上高の増進を図ってまいります。



個別指導部門の拡充を加速

2027年3月期の「100校体制」確立に向けて、校舎展開を加速してまいります。首都圏における難関校受験対策のNo.1個別指導塾としての地位獲得を目指してまいります。



人材育成の強化

採用手法の改革・内部リクルート強化により優秀な人材の獲得を目指してまいります。研修体制の再構築・研修ツールの充実により人材育成の強化を図ってまいります。



DX戦略強化と差別化促進

コロナ禍対策として迅速に取り組んだ各種ICT活用施策は、顧客の皆様から大きな信頼を寄せていただく結果となりました。引き続きサービス品質の向上、成績向上・志望校合格につなげるため、新たなシステムの開発・既存システムの改良に注力してまいります。

Topics

今期のトピックス 1

4年ぶりに「夏期合宿」を開催

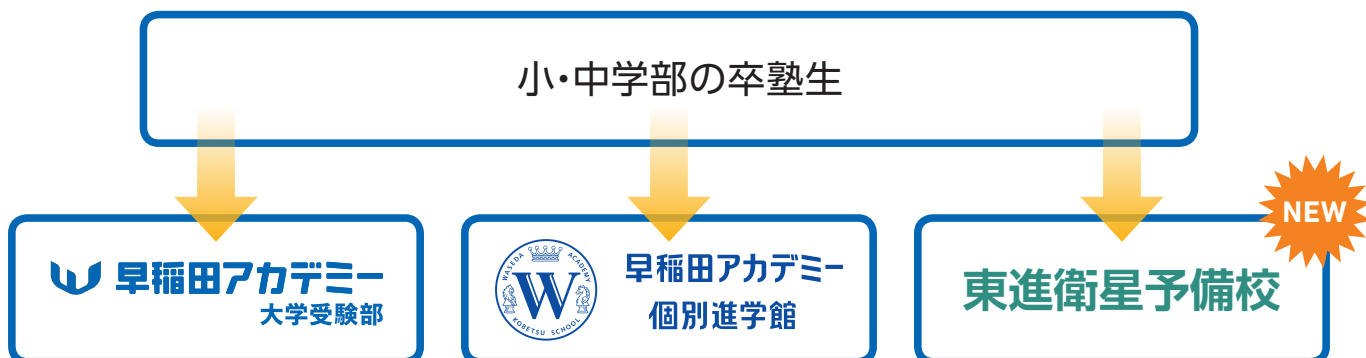
コロナ禍の間、開催することができなかった当社最大のイベントである「夏期合宿」。

今年8月、4年ぶりに夏期合宿を再開いたしました。再開初年度の今年は、小学4年生、中学1年生の2学年での実施となりましたが、それ以外の学年で行った通塾型の「夏期集中特訓」と合わせて14,000名を超えるお子様にご参加いただきました。「夏期合宿・夏期集中特訓」とともに大きなトラブルもなく無事に全日程を終えることができ、参加した子どもたちの顔つきも自信みなぎる表情へ変わっていきました。



東進衛星予備校ネットワーク・東進中学NETへの加盟を決定

当社は、株式会社ナガセをフランチャイザーとする大学受験予備校「東進衛星予備校ネットワーク・東進中学NET」へ加盟することを決定し、2024年3月に4校を開校する予定です。当社ではこれまで高校生に対しては、「大学受験部」ブランドでの対面授業サービスと「個別進学館」ブランドでの個別指導サービスを提供してまいりましたが、そこに「東進衛星予備校」が加わることで、更なるサービスの充実に繋がるものと考えております。当社では毎年1万人以上の生徒が、当社小中学部校舎を卒業されます。これらの卒業生が高校生になっても「早稲アカ」にお通いいただけるよう、大学受験部門の更なる品質向上・総合ブランド力向上に努めてまいります。



Topics

今期のトピックス 2

既存校の移転リニューアル・増床を推進

2023年5月、渋谷駅周辺の複数の建物に点在していた渋谷校3ブランド（ExiV・大学受験部・個別進学館）を1つの建物に集約し増床・拡充リニューアルしたのを皮切りに、個別進学館練馬校、横浜校、木場校、戸越公園校、久我山校、武蔵浦和校等において、移転リニューアルや増床・改修を実施いたしました。今後も開校から長期間経過している校舎は、積極的に移転リニューアルを推進し、環境面の改善を進めてまいります。



▲ 渋谷校の移転リニューアル



▲ 武蔵浦和校の移転リニューアル

安全・安心な通塾環境の強化に向けて

当社はこれまでも各校舎において、出入り口等に防犯カメラを設置しておりましたが、この度、校舎内での事件事故の抑止効果を高め、また授業サービス品質の更なる向上にもつながるように、集団指導校舎の全ての教室とその他必要エリアに約1,970台の防犯カメラを増設することといたしました。2024年1月末までに全校舎への設置を完了させる予定です。今後もお子様ご安全・安心にお通いいただけるよう、取り組んでまいります。

教員・教育業界志望の大学生・大学院生向け「教育就活セミナー」を開催

2023年10月に教育業界への就業に興味を持つ学生を対象に、「私学・塾・出版・EdTech／教育就活セミナー」を開催いたしました。長時間労働などの問題もあり教員志望者数は減少していると言われ、また大学生の就職先として学習塾をはじめとした民間教育企業の優先順位も決して高くはありません。教育に携わる人材の減少はそのまま今後の日本の教育に負の影響を与えかねないという危機感のもと、公教育機関、民間教育機関の垣根を越えて、教育業界の魅力を学生に伝えていきたいと考え、開催したものです。当日は、各講演会、個別相談ブースとも多くの学生にご参加いただきました。



▲ セミナー当日の様子

早稲田アカデミーの最新情報に関しては、当社ホームページ(右記QRコード)よりご確認ください。



早稲田アカデミー

進学塾
早稲田アカデミー



IR・投資家情報

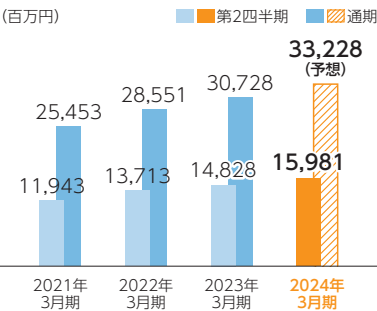


連結決算の概況

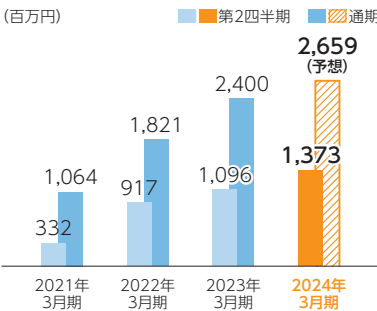
決算期	2022年3月期		2023年3月期		2024年3月期
	第2四半期	通期	第2四半期	通期	第2四半期
経営成績(百万円)					
売上高	13,713	28,551	14,828	30,728	15,981
営業利益	917	1,821	1,096	2,400	1,373
営業利益率(%)	6.7	6.4	7.4	7.8	8.6
経常利益	920	1,841	1,109	2,431	1,406
経常利益率(%)	6.7	6.4	7.5	7.9	8.8
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	569	1,108	690	1,553	1,003
総資産	18,129	19,663	19,443	21,114	21,363
純資産	11,127	11,431	11,865	12,532	13,294
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,598	2,645	1,733	2,908	2,081
投資活動によるキャッシュ・フロー	△670	△1,701	△479	△1,130	△358
財務活動によるキャッシュ・フロー	△445	△1,044	△402	△687	△451
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	5,714	5,128	5,970	6,208	7,453
財務指標(%)					
自己資本四半期(当期)純利益率	5.2	9.9	5.9	13.0	7.8
自己資本比率	61.4	58.1	61.0	59.4	62.2
1株当たりデータ(円)					
1株当たり四半期(当期)純利益	30.21	58.76	36.61	82.35	53.09
1株当たり純資産	590.11	606.22	628.87	664.60	702.69

財務ハイライト

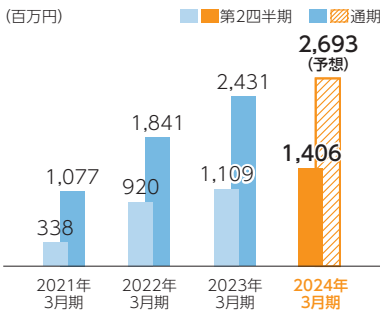
売上高



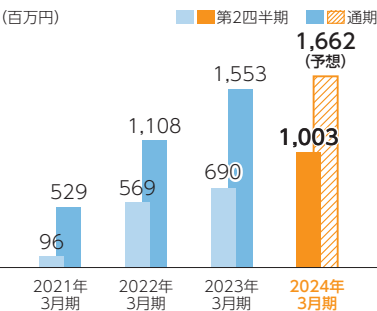
営業利益



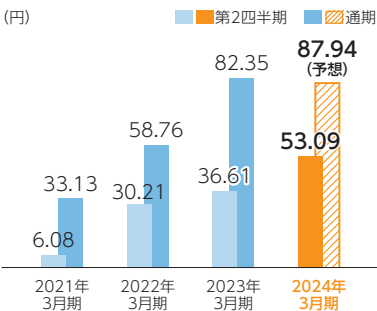
経常利益



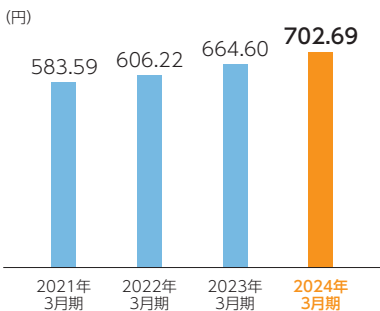
親会社株主に帰属する
四半期(当期)純利益



1株当たり
四半期(当期)純利益



1株当たり純資産



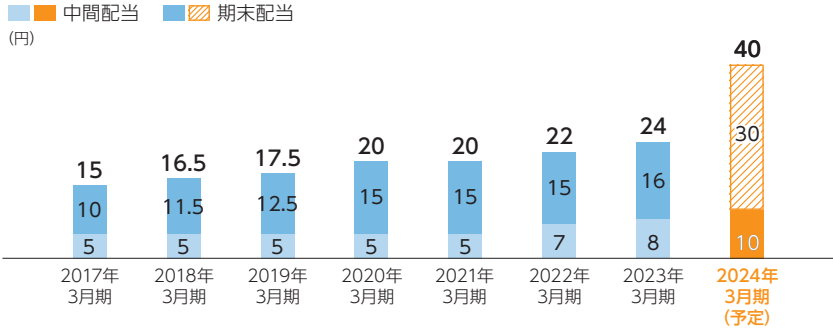
配当金

3期連続の増配を予定

当社は株主の皆様に対する利益還元を、経営の重要課題の一つと認識しており、毎年の配当金につきましては、安定的な配当の維持を基本としつつ、収益状況に応じて配当性向も勘案の上、配当額の向上を検討していくことを基本方針としております。

2024年3月期につきましては、株主の皆様への利益還元を果たすべく16円増配の1株当たり年間40円(中間配当10円、期末配当30円)を予定しております。

※2023年10月31日に、期末配当予想の修正(増配)を行っております。



株主優待

基準日	優待内容			贈呈時期(予定)
3月末	当社株式を100株以上保有する株主様	継続保有期間	3年未満	QUOカード 1,000円
			3年以上※	QUOカード 2,000円
				2023年6月発送のデザイン
9月末	当社株式を100株以上保有する株主様	継続保有期間	3年未満	株主優待券 5,000円相当
			3年以上※	株主優待券 10,000円相当
				2023年11月発送のデザイン

※継続保有期間3年以上の算定については、1単元(100株)以上の株主として、同一株主番号で3月31日及び9月30日の株主名簿に連続7回以上記載又は記録されていることといたします。

保有株数にかかわらず、一律左記金額の優待券、QUOカードを贈呈いたします。

株主優待の詳細に関しては当社ホームページ(下記QRコード)よりご確認ください。



QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

Web株主アンケート ご協力のお礼とご報告

Business Report(2023年6月発行)で実施したWeb株主アンケートに対し、多くの株主様から貴重なご意見や温かいお言葉をいただきました。ご協力いただき本当にありがとうございました。ご意見等は今後の事業活動、IR活動に活かしてまいります。

- 【当社IR活動へのご意見】
- ◆子どもが通塾しています。時代・環境に合わせたサービス(オンラインの活用など)が充実しており、満足しています。
 - ◆息子が中学受験の時に早稲アカに通い、その時以来御社の株式も保有しています。これからも応援しています。
 - ◆教育の充実は、社会への貢献度が高く期待しています。
 - ◆SDGsの観点から、紙のビジネスレポートを電子化することも検討してみたいかたがでしょう。
 - ◆クオカードのくまのキャラクター、とても可愛いです。

Q 新しい取り組みがあれば、紹介してほしいです。

A 当社は新たに株式会社ナガセをフランチャイザーとする大学受験予備校「東進衛星予備校」へ加盟することを決定いたしました。本Interim Business Reportにおいても記載しておりますので、ぜひご覧ください。